

オープンイノベーション実習 テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ名称	近未来の建築空間・建設現場のイノベーションデザイン
実習責任者	デザイン学ユニット特定准教授 十河 卓司
実施協力者	株式会社竹中工務店 大阪本店 設計部 畑中 哲夫、粕谷 文、大須賀 史朗 株式会社竹中工務店 技術研究所 松岡 康友
テーマの背景	近年の建築空間においては、エネルギー問題、空き家問題、少子高齢化問題などを背景として、省エネ化・建物ストックの活用・少子高齢化社会への対応等の社会的ニーズが高まるとともに、健康増進などの新しいニーズも生まれてきており、ユーザーにとって付加価値の高い建築物が求められている。また、建設現場においては、建設作業員の不足が問題となっており、働く若者にとっての魅力向上や、建設工事における生産性向上が求められている。
実習の概要	上記のような建設業における様々なニーズに応えるため、本実習では、これまでの建築の枠にとらわれず、さまざまな専門分野の技術や知見を活用し、新しい建築空間、あるいは建築現場のアイデアを検討する (IoT・AI を始めとするさまざまな分野の技術のほか、例えば心理的手法に基づく検討を組み合わせてもよい)。対象とする建築物は、オフィスビル・住宅・学校・病院・工場・公園などの一般的な建築物のほか、海外における熱帯・砂漠・極寒地域・宇宙等における建築物を含めてよい。
実施計画、実施場所	<ul style="list-style-type: none"> • 実習チーム (受講者と実習責任者) のミーティング、および協力企業とのミーティングは、原則としてデザインイノベーション拠点で実施する。 • 委員会 (専門家、学生等によるワークショップ) は、デザインイノベーション拠点、吉田・桂キャンパス内の会議室等にて実施する。 • 実施協力者による建設現場見学会や、建設業従事者との意見交換会などを予定している。その他、必要に応じて、大学や企業の専門家へのヒアリングやフィールドワークを行うことがある。 <p>詳細は実施計画を参照。</p>
受講者の役割	当初の目的が達成されるよう、ワークショップのファシリテーションを含むプロジェクトのオーガナイズを適切に行う。例えば、新しい活用方法を探るために、委員会メンバーの選定を工夫する。ワークショップでは、専門家の知識を効果的に引き出したり、新しいアイデアを効率的に創出したりするためのファシリテーション方法やデザインプロセスを検討する。ワークショップ開催前の情報収集や、開催後の報告書作成なども適宜行う。
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> • FBL/PBL を経験していること。 (FBL/PBL 1 と 2 の単位を取得している者。または、いずれか一方の単位を取得し、かつ、サマーデザインスクール/デザインスクール in 沖縄/香港のいずれか一つに参加している者。または、これらに相当する知識と経験を有すると認められる者。) • デザイン学共通科目、デザイン学領域科目の単位を取得していること。
募集人数、締切	<p>■受講者 (デザイン学履修者) を募集する 2名以上、3名以下、締切: 5月2日 (火) 事前に指導教員に相談し、許可を得ること。 応募多数の場合には、専門分野のバランス等を考慮し決定する。</p> <p>□受講者を募集しない</p>

応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。 To: takushi.sogo [at] design.kyoto-u.ac.jp Subject: OI 実習参加申込 本文: 氏名、所属、学年、メールアドレス、テーマ名称、応募の動機、その他
受講者の決定	5月8日(月)までにメールで受講の可否を通知。
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	ブレインストーミングなど (参考文献) “デザイン学概論,” 共立出版, 2016. 堀公俊, 加藤彰, “ワークショップデザイン—知を紡ぐ対話の場づくり,” 日本経済新聞出版社, 2008. V. クーマー, “101 デザインメソッド—革新的な製品・サービスを生む「アイデアの道具箱」,” 英治出版 Wiley & Sons, 2015.
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> • 出席 3 割 (実習チームのミーティングには原則参加のこと) • 活動状況 4 割 (OI チームのマネジメントへの貢献やファシリテーションの実施状況。教員の観察による) • 最終結果の質 3 割 ※実習チーム: 受講者、実習責任者 ※OI チーム: 協力企業等のステークホルダ、委員会委員
知的財産の扱い	実習中に新たに生じたアイデアに関する知財は公知の扱いとし、Web 等で概要を公開する。その条件を前提として応募すること。
秘密情報の扱い	企業等の秘密情報は扱わない。
特記事項	

実施計画

日程	場所	実施内容
5月12日(金) 15:00~16:30	竹中工務店 大阪本店 (大阪市)	<ul style="list-style-type: none"> • テーマの説明 (予備日: 5月11日(木) 15:00~)
~7月下旬	KRP 拠点等	<ul style="list-style-type: none"> • 期間中、3~5 回程度のワークショップ (WS) を開催する。 • 各 WS の開催前に主に WS のプログラムについて、WS 終了後には振り返りと次回 WS の方針について、ミーティングを行う。したがって、目安として 6~10 回程度のミーティングを行う。日程は受講者の都合を考慮して決定する。 • ミーティングのほか、委員の調整、WS のプログラムの立案、各種調査などの作業を各自で行う。
8月上旬	KRP 拠点	<ul style="list-style-type: none"> • 報告書の作成、提出 • 最終報告会

※KRP 拠点: デザインイノベーション拠点